

帯広の森幼稚園  
園長だより  
帯広葵学園  
令和3年度 令和3年5月13日発行 No.4 園長:佐藤敬示

# 春風化雨



雪解けが進み、土もすっかり乾いたある春の日。もり組さんとそら組さんが森の探検に出かけました。

美しい森ときれいな空気。自然に囲まれた遊歩道と広場。恵まれた環境に感謝！



## 森の探検隊 楽しいお散歩

子ども達はみんな笑顔。仲よく手を繋いで森をお散歩・・・というより探検です。葉っぱや木の影、足音など、大人にとっては当たり前の景色でも、子ども達にとっては好奇心を刺激する要素がいっぱいだったようです。



## 2年目の感染対策

しっかり継続しています！

なかなか収束の兆しを見せない新型コロナウイルス感染症。本園では昨年より園内の消毒や換気、子ども達への指導などを徹底して行っております。連休明け、帯広・十勝の感染者数は若干増加気味です。ご家庭での「検温」「うがい・手洗い」も引き続きお願いいたします。

(これらの取り組みはノロなど他の感染症対策にもなります。)

## 園長からのお願い

『路上では「手と目を離さないで』『挨拶』とお願いしてきましたが、今回は『褒めてあげて』ほしいということです。お子さんの良いところを見つけて、笑顔で褒めてあげてください。

幼稚園前の道路で水道管工事が行われます。本格的には7月から始まるようですが、既に測量などの下準備が始まって、通行規制がかかる時間帯があります。送迎の際にはいっそうの注意・安全確認をお願いいたします。

## 食育 感謝して命をいただく

本園の母体である帯広葵学園には『言葉の教育』『音の教育』『命の教育』『文字・数・創造の教育』『英語の教育』『食と農の教育』の6つの基本理念があります。

『食と農の教育』では、実際の食材に触ってみたい、カードを使って栄養のバランスを色分けしてみたり、春に自分達で植えた野菜を秋に収穫する体験を行ったりしています。どの活動も食べ物の大切さを楽しみながら取り組んでいます。

いわゆる『食育』の基本は「感謝して命をいただく」ことだと考えます。

育ててくれた人達への感謝。

作ってくれた人達への感謝。

そして何より、命そのものへの感謝の気持ち(畏敬の念)を大切にします。

毎日の給食を食べる時も、ご家庭での食事の時にも「(命を)いただきます」「(手間暇をかけてくれて)ごちそうさまでした」と心を込めて挨拶をする習慣をつけることが大切です。



給食の時には、食べる前の準備や姿勢、挨拶、そして食べる時のマナーについてもしっかりと指導しているところです。

と、堅苦しいことを書き綴りましたが、「おいしい!」「たくさんおかわりしたよ!!」と、笑顔と明るい声に包まれる空間・ひとときが一番大切なのかも知れません。

みんな笑顔で食べていましたよ。

毎月更新している「今月の絵本」。

年少さんは「ぐりとぐら」、  
年中さんは「ノンタン」、  
年長さんは「もったいないばあさん」

のシリーズがおすすめです。買ったり借ったりする機会があれば是非!

## 今月の絵本

